

テクナライザー 偏光板参照。

## ち

**チップ** 切りぬきTP参照。

**チャートの利用法** 地図、絵、写真、グラフなど、今までスライドやチャートで提示されていた教材を提示するOHP利用の方法。チャート法、スライド・チャート法とも呼ばれている。(P.18)

**ちょうふ(貼付)法** カラーシートやインスタントレタリング、その他の材料をシート面に貼りつけてTPを作成する方法。(P.32)

## と

**投映レンズ** OHPのヘッド部に装置されているレンズで、映像をスクリーンに結ばせる。映写レンズとも呼ばれている。(P.7)

**動画的利用法** OHPによってアニメーション的な提示画面をつくり出す方法で、TPシートやロールシートに背景を描いたものをOHPステージにのせ、その上でペープサートやミニチュアなどを操作して投映する。(P.21)

**ドライフォト方式** TP作成における複写法の一方式で、原稿とネガ紙を重ねて露光し、このネガ紙(中間紙ともいう)とTPになるフィルムを合わせて赤外線にあて熱現像する。電磁スペクトルから可視光線と赤外線の2種類の違った波長のエネルギーを使うので Dual Spectrum Process (D・S) 方式とも呼ばれる。(P.37)

**トラペナルーパー** TPの一部を拡大投映する器具の一種で、レンズ・ステージとも移動可能のため、どの機種(OHP)にも利用できる。拡大投映法参照。

## は

**白熱映写ランプ** タングステン映写ランプとも呼ばれており、映写機に広く利用されている。一部のOHPにも光源ランプとして用いられている。

価格も安いですが、寿命が短かく、OHPを横

だおしにして利用できない。(P.8)

**ハロゲンランプ** 元素・臭素などハロゲン系元素の化合物のガスを封入したランプでOHPの光源として広く用いられている。JIS規格がなく、OHPの機種によってことなる規格のランプを使用しなければならない。ランプの形状からグローブ式(球状)、バー式(棒状)のものがある。(P.8)

**板書代替法** 板書の利用法参照。

**板書の利用法** 板書代替法とも呼ばれ、板書するかわりに、あらかじめシートに必要な事項を記入しておき提示するOHP利用の方法。(P.17)

**反転ミラー** 光路屈折用平面鏡参照。

## ひ

**表出法** TPを不透明な紙などで被覆し、その被覆を一部分ずつ取り去り提示する方法。全体部分提示法参照。

## ふ

**ファクシミリ方式** 多くの学校に普及している謄写用原紙(ファックス原紙)を用いて複写する複写機を利用するもので、専用のフィルム(トミーコボックスなど)を用いると複写原紙とTPが同時にできる。(P.35, 37)

**複写法** 各種の複写機を用いて印刷物・写真などを複写し、TP化する方法。(P.34)

**部分透視法** 画用紙など不透明な材料の一部分を切り抜いてOHPのステージ上にのせ、切り抜いた部分をとおして出る光をスクリーン上に拡大投映する提示法。(P.24)

**フラッシュ法** 瞬間投映法とも呼ばれ、TPを瞬時または短時間断続的に提示する方法。一般に投映光を遮断する方法を用いるが、スイッチを切る方法(スイッチコントロール法)もある。(P.25)

**フレネルレンズ** 集光レンズ参照。

**プロジェクターテーブル** OHP用映写台参照。

## へ

**偏光紙** 偏光素子板と呼ばれるもので、偏光板